

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回二戸市立小・中学校通学区域調整委員会
開 催 日 時	令和7年10月6日（月）午後6時30分～7時40分
開 催 場 所	二戸市役所1階会議室
公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
出 席 委 員	太田郁夫委員、佐藤順委員、槻館行男委員、新毛公生委員、 荒川優子委員、戸来陽子委員、小笠原猛委員、小林聖委員、 福原直樹委員、山舘誠委員、戸来守和委員、橋場重人委員、 山本卓也委員、小林温委員、工藤裕介委員、筒井裕一委員、 中野善文委員 （欠席：浪岡幸子委員、新毛真武委員、中里敬委員、蛇口吉男委員）
説 明 の た め に 出 席 し た 職 員	加藤教育長、立花教育部長、長畑教育企画課長、小保内教育企画係 長、大平教育施設係長、五日市学校教育主査
会 議 の 概 要	・事務局より資料説明 ・諮問事項について審議

発 言 者	内 容 （要 約）
部長	1 開会 18：30 第4回二戸市立小中学校通学区域調整委員会を開催する。 委員4名欠席、定数に達していることから会議成立となる。
教育長	2 教育長あいさつ 本日で4回目となり、この委員会も後半突入する。本日も、活発な意見交換をお願いしたい。
会長	3 会長あいさつ 今日は、小学校の学校規模の意見を取りまとめ、通学区域の審議に入りたいと考えている。
会長	4 審議 前は、中学校の学校規模について、多様な考え方に触れることや、教科担任の配置できること、クラス編成は、より多い学級が望ましいなどの理由から3学級以上ということを答申に盛り込むことを確認した。 小学校の学校規模は、集団での学びやクラス替えができる2学級以上が望ましいとしながらも、現状での単学級や学級編成を踏まえる、許可できる範囲を示してほしいという意見もあった。また、市内で考えると、学校が複数あることで、ライバル心がでるという意見、複式学級の意見も出た中で閉会となった。 今日は小学校の学校規模について、意見を取りまとめたい。事務局から、資料の説明願います。
課長	過去の資料をクリアファイルに入れて配布している。毎回過去の資料を持参しなくてもよいように配布したものである。帰る際は、置いて帰るようお願いする。配布資料は番号を振り、次回も同じものを配布するのでメモ書き等自由に使っていただいて構わない。 過去の資料で1点説明がある。1回目資料4ページ、1（1）、本市の出生数の推移について、会議では令和6年度までを記載し説明した。下線部について、8月25日の市議会議員協議会において、出生数及び母子手帳の交付件数から、8月1日現在の7年度出生見込み数が示されたので、最新情報として追加記載した。 出生数は、令和4年度に100人を切り、令和6年まで90人台で推移し、市内全体で3学級に収まるという話をしてきた。7年度は70人を切る見込みであり、近い将来、現実には2学級が目に見える状況となったことから、追加し情報共有するものである。 次に本日の資料の説明をする。

	資料１は、第３回の会議資料を修正したものである。(1) ①の１学年１学級の意見について、具体的な理由がないことから横棒としていたが、意見がなかったわけではないので出た意見を記載するべきとの委員の意見を踏まえ下線部のとおり修正するものである。 資料２は、前回の委員の意見を取りまとめたものである。 小学校の学校規模は、クラス替えや集団の学びなど、２学級以上が望ましいという意見であった。他に、結論を出すことが難しいこと、複式学級の話、許容できる範囲を設け単学級を維持することを答申に盛り込めないかという意見があった。結論に至らなかったため、本日はここから協議をいただきたい。 ３ページは、現在の適正配置基本方針から許容範囲を抜粋し記載している。この基本方針のもとに平成２３年から平成３２年度までの適正配置計画が策定されたところである。許容できる範囲ということでの内容については、記載のとおりである。【読み上げる】 次に中学校の学校規模については、結論として１学年３学級以上として答申に盛り込むことを確認したところである。 資料３は、今後のスケジュールを示したものである。本日、第４回目は、目途として、小学校の規模の決定し、通学区域の協議まで入りたいと考えている。今後は、月に１度のペースで委員会を開催し、１１月の第５回では、通学区域の決定、１２月、１月の６回、７回では答申内容について協議、決定したいと考えている。その後、１月下旬の答申をもって、３月末までには、事務局で適正配置の基本方針を策定する予定である。次年度以降は、前期５年、後期５年の１０年を期間とする適正配置計画の策定を予定している。策定にあたっては、地域説明を行い進めていきたいと考えている。 会長 事務局から説明があった。小学校の学校規模については、いろいろと意見があり、出された意見をまとめると、基本的には、１学年２学級が望ましいとしながらも、現状においては、これまでも単学級で学校運営を行ってきたことや、複数校の配置があったほうが競争意識が高まり、切磋琢磨できることも踏まえると、現段階では、一定程度の集団編成ができる規模である許容範囲として６学級１２０名程度の単学級を維持しつつ、教育の向上を図っていく必要があるということだと思っている。 委員 ２学級以上が望ましいということだけではなく、許容範囲を踏まえた単学級を維持について、複式学級について意見をお願いします。 出生数７０人で２クラスになることを考えると、将来的には１校の方向にせざるを得ないと感じる。他校の子どもたちとの競い合いというものもあるが、１０年先を見た方向性となれば、２学級を維持というところではなく、１校の方向に向かうことを考えなければならない。
--	--

委員	将来的に市内でその人数になると1校になっていくものと思う。地区ごとの出生数も段階的に考えていく必要があると思う。人数を見ながら学校を合わせていくということが必要になってくる。
会長	複式学級について、10年を見据えどのように考えるか。単学級の許容範囲が20人ぐらいとなると、複式学級は解消するという考え方になるが。
委員	資料の7年度の出生見込み数の68人は愕然とした。最終的には市内1校になる結論的な部分が見えているが、そこまでの過程が大事であり、原則的には、先ほど会長がまとめた案で良いものとする。 ただ、前回示されている他市町村の考え方でもある、1人の子どもが2回統合されることは避けなければならないと強く思う。例えば、最終的に福岡小にまとまるのであれば、先んじて福岡小にまとめていく考え方も1つあるのではないかと。数字を見れば、現実的にはどうにもならない。地域の思いはわかるので、苦しい決断になると思うが、そう考えていかなければならないと思う。
会長	皆さんから意見がないようですが、小学校の学校規模は、1学年2学級以上が望ましいとしながらも、許容範囲を1学級20名、全校の下限を120名程度と定めて単学級を維持しつつ、複式学級は解消しながら、教育の向上を図ることが必要であると答申に盛り込むということでいかがか。
委員	基本線は2学級以上が望ましいとしつつ、下限も明記するのが一番良いと思う。
委員	基本的な考え方は皆さんと同じである。10年後に市内1校を目指すのであれば、1年生で統合、6年生でも統合というのは負担も大きいと思う。逆算すると、3年程度のうちに、第1段階の形を作っておかなければならないと思う。教育委員会が、10年間で地域との話で、いきなり1つにすることにならないよう、スピード感を持ってやって欲しいということも踏まえた答申にしていきたい。
会長	段階的ということと、スピード感ですね。出生数が100人切ったと思ったら、4年後には70人を切っていますので。
委員	スピード感を持って、3年以内には3校とかの形をつくり、その次、10年後には1校になるように、その段階を踏まえながら、その段階のスピード感を持たせないとならない。
委員	統合にあたっては、子どもの負担が少ないようにすることが前提だと思う。

	交流しながら統合していくことで、スムーズに学校で過ごせると思う。メリットである活動の場の広がりや選択できる形を子どもの負担が少ない状況を作ってあげたい。それを作るのが親たちの役目であり、その流れができれば助かる。
会長	皆さんの意見をまとめると、小学校の学校規模は、1 学年 2 学級以上が望ましいとしながらも、許容範囲を 1 学級 20 名、全校の下限を 120 名と定め、単学級を維持しつつ、複式学級は解消し、スピード感を持って教育の向上を図ることを、答申の中に盛り込むということによろしいか。 【異議なしの声あり】
会長	事務局ではそのようにまとめてください。
課長	スピード感は大事ですが、地域、保護者との話の中でまとまる部分がある。スピード感はその通りだが、地域事情もあると思うが。
会長	地域の実情に合わせてというような部分も踏まえて、答申に盛り込んでいただければと思います。 次に通学区域について審議します。事務局、説明願います。
課長	資料 4、通学区域のあり方です。 (1) は国が定める標準的な通学距離及び通学時間について記載している。①の通学距離は、概ね小学校は、4 km、中学校は 6 km とされている。②の通学時間は、小学校、中学校ともに概ね 1 時間以内というところが示されている。地域の実情も踏まえ、総合的に判断していくものと考えている。 (2) は、委員の意見を取りまとめたもので、第 2 回の資料と同じものである。小学校は、市内 1 校、旧二戸、旧浄法寺の 2 校、中学校区ごとの 3 校、複式学級を隣接する学校と併せて 5 校、現状維持の 8 校、中学校は、市内 1 校、旧二戸市、浄法寺の 2 校という意見である。表の下には、出された意見の具体的な理由を記載している。
会長	統合の話ではないが、将来的な統合を見据える必要がある。難しいが、具体的な統合の議論ではなく、少子化が進みます児童生徒の減少することが予想される中で、小学校、中学校の学校区域をどうするか。最終的に小学校 1 校、中学校 1 校となる時に考慮すべきことを付帯として盛り込めれば思う。
委員	通学時間は概ね 1 時間以内と示されている。まだ体力がない小学校低学年の長距離移動はどんなものかと思うが、これについてはそれを超えるしかない

	感じている。最終的には、子どもの活動も制約されるということもでてくるが、それにも増して、多い人数でいろんな経験ができるということが大事と思うので、最善の方法で補っていくしかない。距離を制限するというよりは、最適な環境を探っていくことが必要と思っている。
委員	スクールバス以外の移動手段はあるのか。
委員	地区によって、スクールバスのほか、タクシーや親が送迎している。統合になった場合、スクールバスのバス停まで親御さんが送ってくるのか、タクシーである程度のところまで送る必要があると思っている。
委員	中学校で自転車の許可はあるのか。何人くらいいるのか。
委員	自転車は通学距離が2 km 以上あれば申請を受付している。30 名くらいいる。
委員	通学時間がネックと考える。習い事など子供たちに合った時間で移動できれば、多少は時間を有意義に使えると思う。
会長	教育課程の編成上、登校時間などどうですか。
委員	8 時 15 分までに登校し、下校は3 時半や、4 時である。多くの子どもたち、特に下の学年は学童に通っている。スクールバスで帰る児童と、学童で親御を待つ児童に分かれる。高学年は様々な方法で帰っている。バスの便数によるが、例えば放課後に残して勉強させたい思ってもスクールバスだと難しい。これはスクールバスを使っている学校で特にある話だと思う。少なくとも低学年と高学年のそれぞれ2 便は必要と思う。しかし、実際は学童に行ってバスには大して乗らないということは出てくると思う。 通学距離が概ね4 km 以内というのは、現実として不可能であり、統合を考えた場合、通学時間が1 時間以内というところになると思う。小学校の側からすると、低学年の1 時間のバス移動はかなり負担と考える。遠足で奥中山に行く30 分、40 分切るぐらいでも寝てしまって起きることができない。ぐるぐる回る経路ではなく、なるべくダイレクトに学校に来れる仕組みになればありがたい。何地区か回ると時間が長くなるので、できるだけ真っすぐ来れるよう検討していただきたい。
委員	経験としては、一番目に乗る子は他の家も回りながら1 時間乗っていることになる。帰りはその子を一番先に降ろし、行きと帰りで乗車時間が違うようにした。二戸市は広いので、坂本、白鳥地区のように路線バスを上手に使い、あとタクシーと思う。

課長	通学方法については、計画策定後、統合の話が出てきた時、地域と具体的な相談となると思う。例えば、バスの停留所をポイントにしながら、そこまで出てきてもらい脇に逸れず直線的に学校まで登下校する方法もある。すべてがドアツードアではなくて主要なところまでは出てきてもらうというのは1つの考え方である。また、タクシーの方法など具体的な話は、地域に入った際となってくる。
会長	国が示す1時間以内を目安としながら、地域の実情に合わせてと考えております。そうすると、やはり小学校1校、中学校1校として将来を見据えてという考え方になると思うが。
委員	金田一中と福岡中が合併するとなった時に、学校間はそれほど遠くないが、金田一の野々上、釜沢地区は、金田一中までも結構な時間がかかる。統合して福岡中に行くと40分ぐらいかかる。 そこで、今までにない取組として、例えば、福岡中周辺の空き家、アパートに補助金を出して住んでもらうのはどうか。新しい発想で遠方の方の無駄な時間を無くして欲しい。
委員	今後、中学校3校の維持は難しいと思う。絞らざるを得ない。そうになると、子どものケアを念頭に考えて頂きたい。
会長	中学校の場合、1時間以内の移動と考えると、拠点を端と端に置くよりは、真ん中の福岡中になると思う。答申に福岡中を入れるかは別に、中学校の通学区域は市内1校を見据ええ、集約していくということで答申に盛り込みたいと思う。 事務局、学校名まで入れた方がいいか。
部長	今日の段階では、中学校1校に集約していくことを整理をいただき、答申案作成の中で、学校名を入れたほうが良いとなれば、その時にお願する。
会長	通学区域について、中学校は市内1校ということ盛り込み、基本的には通学時間が1時間以内を見据えることでよろしいか。 【異議なしの声あり】
会長	小学校はどうか。
委員	最終的には、1校やむなしと思う。そこを見据えた形で寄せていく、まとめ

	ていく形になると思う。小学校低学年を除くとなると1校になれないので、方向性としては、小学校1時間以内と盛り込んだ方がいいと思う。
委員	民間の学童利用が多く、学校の学童にはほとんど児童が行ってないのではないかな。先ほど、スクールバスの台数がたくさん必要という話があったが、そんなに必要になるか。帰りに必要となる児童を調べる必要がある。習い事をしている児童もいるので、単に帰りのバスを多く出せばいいというものではない。
委員	私の学校でも、親が送迎しており、乗るべき人が実際には全員乗っていない。結果的には、バスに乗る人はそんなにいないのではないかな。定期便は出したほうが良いと思うが、自分の意見としては、タクシーがベストと思う。
会長	統合を2回経験しないという意見を踏まえると、単学級が維持できなくなった学校は近くの学校に統合ではなく、将来を見据え1校、2校に統合しないと何回もということになると思うが、その辺はどう考えるか。
委員	令和7年度の出生数が70人を切るということで、7年後の1年生は市内全部で70人切るということになる。統合について地域と話をするころには、1校以外に選択できない状況になっている気がする。 まずは複式学級の解消、単学級も残すということですが、複式学級を解消するとき、仁左平小の中学校区で考えれば金田一小となるわけですが、中学校が1校になるとき、金田一小と一緒にいる必然性はなくなる。 次の近くは中央小となるが、最終的に10年以内のところで1校にせざるを得ないとなれば、核となる小学校に複式解消の学校が来る方が、1人の小学生が2回統合することを避けることができる。それしかない。そうすると、中学校の核をどこにするのかをはっきりしなければ、小学校の核にもかかわってくる。15年後には、どうしても小学校1校にならざるを得ない。そう考えると、答申に盛り込めるかは別にしても、複式学級を解消する学校は、やがて1つになる学校と一緒にしていく方が良いと思う。 それ以外の福岡、中央、石切、金田一、浄法寺の学校は、頑張れるところまで頑張り、最終的に1校になる。最後の1校をどこにするかは盛り込まざるを得ないと思う。それがないと、複式学級を解消する学校がどこに行くのか見えない。下手をすると一番心配している2回統合を経験する子がでる可能性もある。統合2回を避けるということは、答申に触れておく必要があると思う。
委員	校舎の規模を現実的に考えたときに、中学校であれば、3学級以上となった場合には、必然的にも福岡中になると思う。教室の関係、1時間以内という通学時間も考慮した場合には、端から端に行けば1時間を超えてしまう可能性もある。やはり中央に集まるという考え方が自然であり、将来的には、福岡中、

	福岡小に集まることになると思う。その明記分については後からなのかもしれないが、考え方の基本は福岡中、福岡小だと思う。
会長	先ほど事務局から、学校名は答申案の中でも審議してもらおうということなので、まずは、2回も3回も統合を経験しないように子どもの部分を見据えていけば、中学校、小学校とも市内を1校を見据えて集約していくということでどうか。
委員	最終的には市内1校でいいと思う。段階的に統合する仕方という、私のイメージは、近くの学校と一緒にいる思っていたが、軸を決めて進めるやり方は、「ああ、なるほど」と思った。その集約の仕方、方向性も盛り込めたらいいと感じている。複式学級を解消するために、距離など関係なく、福岡を軸に集約するのであれば、そのほうが確かに1回で済む。
会長	近くの学校の場合、そこが単学級でなくなる可能性があるので、統合が2回、3回となる可能性がある。
委員	仁左平小は今複式学級です。基本的には、金田一中に向かうという部分があるので、その辺しっかり確認しておかなければならない。
委員	仁左平小が福岡小に行くと、金田一中がもっと苦しくなる。
委員	中学校の統合をどう進めるかにもよると思う。二戸西小、御返地小は、中学校になると福岡中学区に来ている。そういう流れで今現在できているが、複式学級の解消をするとき、その辺のところをちゃんと確認しておかなければならない。将来的に1校という方向をどう出すかだ。
会長	今回の通学区域のまとめとしては、中学校は、通学区域は市内1校を見据え集約していくということを答申に盛り込む。小学校も同じく市内1校を見据え集約していくとする。その集約の仕方、学校名をどう盛り込むかは、事務局が検討するように。そして、通学時間は1時間以内を基準としていくことを答申に盛り込むということでいかがですか。 【異議なしの声あり】
会長	それでは、その旨でいきたいと思う。今日の会議はここまでとする。次回開催は11月10日（月）18時30分から開催する。事務局は答申の方向性は出たので答申文をお願いします。